

Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 スマイル&ハート vol.71

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

2025年
秋号



Homepage



Facebook



Instagram

Homepage <https://hamada.hosp.go.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter/>
Instagram https://www.instagram.com/hamada_medical_center/

リハビリテーション科のご紹介
リハビリテーション科医師紹介
／新任医師紹介
最新の超音波検査装置導入のお知らせ
認定看護師の活動について
浜田港新型インフルエンザ
検疫措置総合訓練／人権の花運動
がん相談支援センターだより
看護学校だより
市民公開講座の予定について
／秋の特別メニュー
令和8年度採用看護師・助産師
追加募集
外来診療担当医表



「地域で生きる」を 医療を通じて 支援する

浜田医療センターの理念

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護・福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・人格・価値観が尊重される権利
- ・良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明と情報を得る権利
- ・自己決定の権利
- ・個人情報が守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式facebook・Instagramを作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter/>

浜田医療センター で検索!



Instagram

https://www.instagram.com/hamada_medical_center/



contents

- 2 リハビリテーション科のご紹介
- 3 リハビリテーション科医師紹介／新任医師紹介
- 4 最新の超音波検査装置導入のお知らせ
- 5 認定看護師の活動について
- 6 浜田港新型インフルエンザ検疫措置総合訓練／人権の花運動
- 7 がん相談支援センターだより
- 8～9 看護学校だより
- 10 市民公開講座の予定について／秋の特別メニュー
- 11 令和8年度採用看護師・助産師追加募集
- 12 外来診療担当医表

リハビリテーション科 のご紹介

リハビリテーション科士長 平野 哲生

私たちリハビリテーション科は「医療を通じて“地域で生きる”を支援する」という病院理念のもと、急性期・回復期・地域包括・緩和ケアなど、幅広い病期・分野に対応しています。現在、スタッフ総勢37名で日々診療に励んでいます。

今年度は、新しい取り組みが予定を含めて3つありますので、ご紹介いたします。

1. 新任医師の赴任、リハビリテーション科外来の開設

昨年度末に退職された井上医師の後任として、今年4月に島根大学医学部附属病院から新任医師(岸 咲貴子医師)が赴任しました。リハビリテーション科外来を当院4階に開設し、毎週水曜日の午前に外来診療、午後に検査・処置を行っています。嚥下障害、脳卒中後の痙攣、高齢者の廃用症候群などを対象に、評価・治療・リハビリ処方・生活指導を行います。

現在は院内主治医からの紹介が原則ですが、「地域で生きる」を支援するうえで、大きな一歩になると考えています。

2. ドライビングシミュレーターの導入

関係機関のご協力のもと、当院5階に専用室を新設し、ドライビングシミュレーターを導入しました。

この機器は、自動車運転再開支援の評価や訓練に使用され、3台のモニターに映し出される道路や障害物を見ながら、実際にハンドル・アクセル・ブレーキを操作します。車が生活に欠かせない島根県西部において、「地域で生きる」を支援する重要な取り組みと考えています。



3. 休日リハビリテーションの拡大(今冬の予定)

現在、休日のリハビリは土曜日のみ対応していますが、今冬より回復期リハビリテーション病棟で日曜日のリハビリも開始する予定です。今後は、他病棟でも順次体制を整えていきます。

切れ目のないリハビリを提供することで、機能の改善はもちろん、早期の自宅復帰も期待されます。休日リハの拡大を通じて、「地域で生きる」をより力強く支援していきたいと考えています。

浜田医療センターは、島根県西部で唯一の三次救急医療を担いながら、在宅復帰まで幅広くカバーする地域の病院です。このような特徴をもつ病院は全国的に珍しく、スタッフには多彩なスキルが求められます。それだけに大きなやりがいがあります。今後もりハビリを通じて、皆様の「地域で生きる」を支援できるよう、スタッフ一同努力してまいります。

リハビリテーション科 医師紹介



リハビリテーション科
岸 咲貴子

(きし・さきこ)

このたび、浜田医療センターリハビリテーション科に赴任いたしました、岸咲貴子と申します。浜田市に住むのは初めてですが、おいしい海産物や、温かい院内職員の皆様、地域の皆様に癒されつつ、日々の業務に励んでいます。

浜田医療センターのリハビリテーション医療は、急性期から慢性期まで多様なニーズがあり、地域の皆さんと医療・介護・福祉が一体となって支え合うことが大切だと感じています。今後は痙縮治療、高次脳機能評価、廃用症候群、嚥下障害、在宅支援など幅広い分野で、患者さんが「地域で自分らしく生きる」ことを一緒に考え、サポートできるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新任医師紹介

①出身大学 ②趣味 ③浜田医療センターについて(または一言)



小児科医長
平出 智裕
(ひらで・ともひろ)

- ①島根大学
- ②スポーツ、旅行
- ③みんなで協力して石見の小児医療をサポートします!!



産婦人科医師
山根 愛里香
(やまね・えりか)

- ①島根大学
- ②ショッピング、ドライブ
- ③患者さんに寄り添える医療ができるよう精進いたします。



最新の 超音波検査装置導入 のお知らせ

臨床検査科 一宮 謙太

この度、2011年から13年と長い間、頑張ってくれた超音波検査装置が2024年12月にARIETTA850 DeepInsight(富士フイルムメディカル株式会社)に更新されましたので、ご紹介します。ARIETTA850 DeepInsightは、高い診断パフォーマンスと全ての人達への使いやすさを兼ね合わせた超音波診断装置で、大きく4つの利点があります。

1つ目はeFocusingという超音波の送受信技術です。超音波検査装置は船のソナーと同じ原理を使って体の内部を観察していますが、これまでの超音波検査装置では検査する人間の技術により表示される画像の明瞭さに差が生じていました。この技術は検査する人の経験に関わらず、浅部から深部まで均一な画像を得ることができるために、検査する人間が変わってもほぼ同じ明瞭さの画像が表示でき、経過観察する際にいち早く変化を発見できます。

2つ目はAIによる自動計測機能です。これまでパソコンでマウスを動かすようにして体の中の臓器の大きさなどを測っていましたが、この装置は画像を出した後、画面のボタンを1つ押すだけで装置内部のAIが適切な計測位置を判断・計測してくれるため、検査時間は短縮され、患者さんの負担軽減に期待できます。

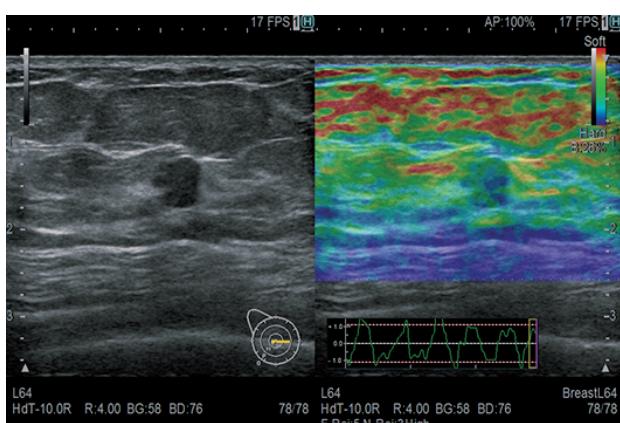
3つ目はDetective Flow Imaging (DFI)です。これはこれまで観察が難しかった血の流れが遅いものを表示できる技術です。これを使用することで小さな腫瘍の微細な血流を感度よく観察することができ、診断の一助になります。



ARIETTA 850
DeepInsight



4つ目はReal-time Tissue Elastography (RTE)です。Elastographyとは組織の中の硬さの違いを色で表示する機能で、肝臓の線維化の程度を判断できることから肝硬変や肝細胞がんのリスク評価、乳腺のしこりの良悪性診断の補助(悪性の場合は硬く、良性の場合は柔らかい傾向があります)、甲状腺腫瘍の悪性度評価で使用されます。これまで患者さんの体にプローブという機械を押し付けたり、少し離したりして検査を行う必要がありました。この技術はプローブを体に当てておくだけで押さえる必要がないため、患者さんへの負担軽減になります。



今回の超音波検査装置更新に伴い、患者さんの負担軽減や正確な計測・評価が行われることで、臨床診断の決定などの一助となると期待しています。また超音波検査に関して何かご質問などがあれば、臨床検査科生理検査室へお気軽に問い合わせください。

抗がん剤の副作用症状を 伝えることが 症状緩和の第一歩

がん化学療法看護認定看護師 足立 美早紀

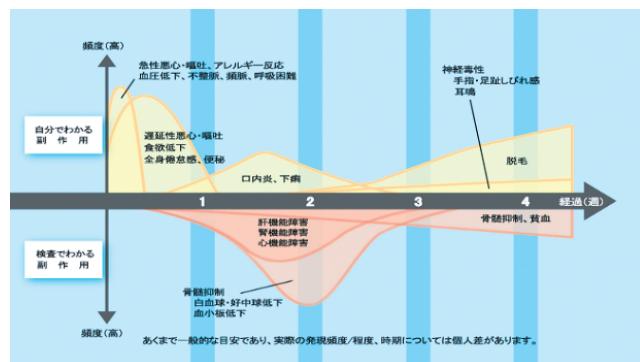
抗がん剤には、内服薬（飲み薬）と注射薬があります。治療は、抗がん剤を投与する日と休む日を計画的に組み合わせ、繰り返し行っています。

近年、抗がん剤治療は、入院から外来での治療へと移行しています。当院でも初めて抗がん剤を使う時は、入院で治療を行い、その後、外来通院で治療を行っています。そのため、患者さんは【嘔気、何を食べても美味しいくない、手足のしびれ、下痢、便秘、発熱、貧血、体のだるさ、脱毛など】の副作用症状と付き合いながら自宅で生活をしていく必要があります。

私は病棟に勤務しています。患者さんやご家族の方が退院後も不安なく生活が送られるように、抗がん剤の副作用や対処方法についてお話しをさせてもらっています。あらかじめ予想される副作用を知っておくことで、心の準備ができ、過剰な不安を取り除けます。自宅で実際に副作用が起こったときにも、早く適切に対処することで、症状が重くなるのを防ぐことができますので、副作用症状の出現時期と対処につなげるためのポイントをご紹介します。

副作用症状の出現時期は？

抗がん剤の副作用は、図1のような経過で出現します。



【図1】

国立がん研究センター
がん情報サービス ganjoho.jp より一部抜粋



治療中、血圧低下や呼吸困難や吐き気などの副作用が出現した場合には、速やかに対処します。図1のように、数日後から食欲不振や嘔気・下痢・便秘などが出現することがあります。また2週間後には骨髄抑制（口内炎、発熱、貧血）などの出現も起こす可能性があります。副作用症状は薬の種類や量など個人差があり、対処法も異なります。そのため、医師・薬剤師・栄養師・ソーシャルワーカーなど多職種と情報共有し、副作用症状などの不安が少しでも軽くなるようサポートしていきます。



伝えてほしい副作用症状 !!

自宅で副作用症状が出現して辛い思いをしていませんか。外来受診のときや入院中に副作用の出現時期や症状を医師や看護師に伝えることで、次回の治療の間隔や量などを調整するものさしになります。忘れないよう日記やメモに残し外来受診時や入院中に医師・看護師に伝えてください。

令和7年度

浜田港新型インフルエンザ検疫措置 総合訓練(部分訓練)への参加

感染管理認定看護師
渡邊 正美

令和7年9月2日(火)に浜田港新型インフルエンザ検疫措置総合訓練の部分訓練に参加しました。この訓練は、浜田港検疫感染症対策・港湾衛生管理協議会構成員により、検疫感染症等の国内への侵入、まん延防止を図ることを目的に開催されます。

訓練は、「X国で鳥インフルエンザ(H5N1)のヒトからヒトへの感染が急速に拡大したため、WHOがPHEIC(国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態)を宣言し、日本政府は対策本部を立ち上げ、各県の感染症指定医療機関が受け入れ体制を整えた想定」で始まりました。

日本海沖でX国に寄港していたクルーズ船の乗客が発熱などの症状が出たことから、近隣の浜田港域外でクルーズ船を待機させ、巡回艇で臨船し検疫を実施します。そして



検疫所から当院へ有症状者の搬送依頼の電話があり、関係部門への連絡、発熱外来の準備や受け入れ手順、PPE(個人防護具)の着脱について訓練しました。

訓練後の反省会では、「患者を車いす型アイソレーターで搬送車から発熱外来内への搬送時に、屋外で待たせる場面があったので常に2人で搬送する必要がある」また、「PPEを脱ぐ順番に検疫所と若干の相違があったが、最終的には手指消毒を行うことで自分自身を感染から守ることができる」ことなどを意見交換しました。

新型インフルエンザ等の未知の感染症対応は、猛暑や雨天など様々な天候のもとでも発生します。どんな状況であっても、受け入れ時の連絡体制の確認と同時に、患者の状態を第一に考えて対応することを忘れずに、合同訓練を定期的に実施することが大切だと思いました。



松原小学校の生徒さんたちから お花の贈呈がありました！

2025年7月15日(火)に浜田市立松原小学校から「人権の花運動」の一環で育てられたお花を贈呈していただきました。

「人権の花運動」は、育てる活動を通して命を大切にすることを学び他人を思いやる心をもつこととともに、自分たちで育てたお花を観賞したり地域の施設に届けたりすることで豊かでやさしい心を育むことを目的としているとのことです。

昨年度以前もお花を学校で育てていたとのことですが、今年度はじめて地域の施設にお花を届けることになったそうです。

贈呈当日は生徒さん2名と校長先生に当院に来院いただき、人権の花運動に取り組まれた経緯などのお話を当院の院長が伺いました。生徒さんのお話の中で、浜田医療センターや来院されたみなさんが笑顔になってほしいとの思いをこめたとのお話もありました。

約1か月半の期間、当院の正面玄関横に設置させていただきましたが、ケイトウのお花がぐんぐんと育つ姿を見るのが

庶務班長
岡本 誠司



楽しみになったという声もあれば、マーガレットのお花が少し萎れている姿を見て心配される声もいただきました。いつしか松原小学校の生徒さんたちから贈っていただいたお花が当院の職員や当院を来院される方々の一つの関心事になっていたと思います。本当にありがとうございました。



がん相談支援センターだより

がんピア・サポーター相談会を開催しました

がん相談支援センター 相談員 齊藤 千恵



9月26日、金曜日、がんピアサポーター相談会を開催しました。島根県西部にお住いの3名のがんピア・サポーターさんが3名の患者さんの相談を受けてくださいました。相談会の様子と相談に来られた方のご意見を紹介します。

がんピア・サポーターってなに？



がんピア・サポーターは、がんを経験した仲間（ピア）として、がん患者さんやそのご家族と「体験を共有し、ともに考える」ことで支援することです。

乳がんの手術を受けたAさんのご意見

- 同じ病気を経験した方からお話を聞いて良かったです
- 手術後もみなさん元気で過ごしておられることが分かり、私も頑張ろうと思いました
- 補正下着をつけた方が良いか迷っていましたが、相談することで悩みが解決しました



- 手術後に抗がん剤治療を行うことになりました。親の介護を続けるかどうか悩んでいたので、気持ちを聞いてもらって楽になりました

乳がんの手術を受けたCさんのご意見

- 職場復帰を考えていたので、復帰する時の注意点など、アドバイスがあり良かったです

直腸がんの手術を受けたBさんのご意見



担当者より 相談会を終えて

がんピアサポーターさんは、がんを経験した方にしかわからない悩みや不安に対して、きめ細やかに相談対応をされていました。相談に来られた患者さんが安心されている姿を見て、「相談会を開催し良かったな」と実感しました。次回の相談会は3月上旬に行います。相談会以外にも、がんピア・サポーターさんとの相談のご希望がありましたら調整して実施します。遠慮なくお問い合わせください。

お問合せ先

浜田医療センター がん相談支援センター 電話番号 0855-28-7096

看護学校だより



ホームページ

浜田医療センター附属看護学校(はまかん) <https://hamada.hosp.go.jp/hamakan/>

1年生が初めての民泊実習を体験しました

6月に1年生が「地域・在宅看護論実習」の一環として、1泊2日の民泊実習を行いました。当校の魅力の一つであるこの実習に、学生たちは「楽しみ！」と期待を胸に臨みました。民泊先のご家庭では、一緒に料理を作ったり、畠仕事を手伝ったりしながら、地域の暮らしや特色を肌で感じることができました。地域の方々との温かな交流を通じて、地域の抱える課題や健康について学び、10月に予定している2回目の民泊実習で

は、実際に健康教育も行う予定です。季節の移り変わりを感じながら、地域医療について深く考える貴重な機会となっています。

実習後は民泊先の方からたくさんのお土産をいただき、学生たちは体験談を笑顔で教員に話してくれました。この実習が続けられるのも、地域の皆さまの温かいご協力があってこそ。これからも地域に貢献できる看護師を育てていきます。



2年生が基礎看護学実習IIを終えました

2年生は10日間の実習で、初めて一人の患者さんを担当しました。情報収集からアセスメントを行い、必要な看護ケアについて考えるという、大きな学習の過程です。これまで学んできた知識や技術を活かし、患者さんのためにできることを一生懸命考えたことでしょう。

初めての経験に緊張や不安もあったと思いますが、現場の指導者の方々や教員のサポートを受けながら、無事に乗り越えることができました。実習を通して、日頃の学習の大切さを実感するとともに、解剖生理学や疾病論、そして看護の知識がケアにつながることを学びました。

「ありがとう」と感謝の言葉をいただいた学生も多く、看護のやりがいを改めて実感できた貴重な時間となりました。



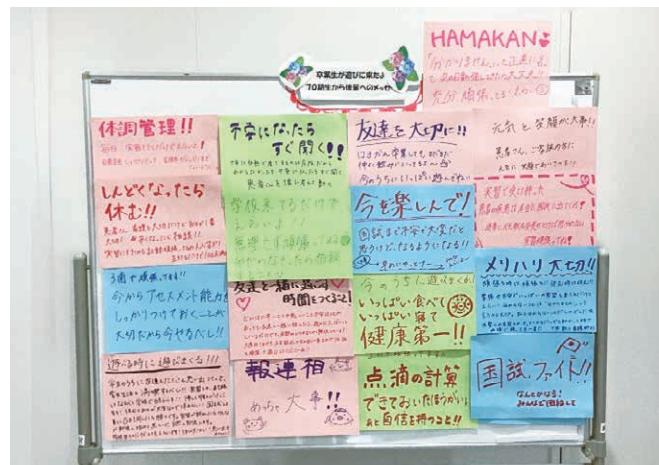
卒業生を迎えてホームカミングデイを開催しました

6月に昨年度卒業した70期生をお招きし、交流会を開催しました。病院勤務や進学で新しい生活を始めて約3か月。久しぶりにあった仲間たちと近況を語り合いながら、遠の方にはオンライン参加もしていただきました。



卒業生からは「採血ができるようになった」などの成長の声が聞かれ、教員も日々の努力を実感できる温かい時間に。大変なこともあるけれど、仲間同士で励まし合い、絆がさらに深まったようです。

最後に後輩へのメッセージもいただき、在校生は大きな励みとなりました。卒業生の皆さん、また学校に遊びに来てくださいね！



国家試験に向けて本格的に学習中です

昨年は全員合格という嬉しい結果。今年も全員合格を目指して学習がスタートしました。クラス内で問題を出し合ったり、ミニレクチャーを開催したりしながら、仲間同士で協力して知識を深めています。

当校ではチューター制を導入しており、教員1人に対して4~5人の学生グループで模擬試験の結果や学習

状況をチェックし、きめ細やかにサポートしています。

また、卒業生が励ましにお菓子を持って訪ってくれることもあり、学生たちのモチベーションアップにつながっています。皆で力を合わせて、目標に向かってがんばっていきましょう！



インスタグラム・TikTokにも
掲載しています。ぜひご覧ください

浜田医療センター附属看護学校
イメージキャラクター「ハマミちゃん」



@HAMAKANGAKKOU

＼令和7年度／ 市民公開講座の予定について

浜田医療センターでは、地域住民の皆様を対象に、市民公開講座を定期的に開催しています。令和7年度の開催については、既に2回開催しており、今後2回開催する予定です。開催テーマについては決まり次第お知らせします。

皆様のご来場をお待ちしています。



日 程	時 間	テ マ	講 師
第1回 終了しました 21日(木)	18:00 ~ 19:00	便秘について	消化器内科医長 斎藤 宰
第2回 終了しました 17日(水)	18:00 ~ 19:00	日常生活の注意点 ~75歳現役を目指して~	総合診療科 北條 宣政
第3回 令和7年11月19日(水)	18:00 ~ 19:00	認知症について	認知症看護認定看護師 谷川 裕子
第4回 令和8年1月21日(水)	18:00 ~ 19:00	リハビリテーション科 ってどんな診療科? ～リハ科の取り組みと フレイル予防について～	リハビリテーション科医師 岸 咲貴子 リハビリテーション科理学療法士 山野 寛太

※日程、講師については変更する場合があります。

秋の特別メニュー

栄養管理室

入院されている皆様の食事サービス向上のため、特別メニューとして趣向を凝らしたお料理をご用意させていただいております。

お料理の内容は、旬の食材や地元の特産品を使用し、季節の味わえる内容に仕上げ、御品書きには、使用している食材の栄養成分についてや、それぞれの料理に込めた思いを添えさせていただいております。

季節ごとにメニューを更新し、旬の食材をはじめ、注目を集めている食材や調理法を取り入れていきたいと思っております。ぜひ一度お試しください。



特別メニューは

●実施日 夕食 曜日ごとに病棟交代

月 3北・3南 金 4北・4南

金 5北・5南・緩和



●対象 並菜の患者さん

※先着5名様まで(アレルギー等の対応はできません)

●料金 別途1,000円(税込み)いただきます。

※主治医の許可が必要なためお断りする場合がありますのでご了承ください。
※1/1~1/3、3/3、7/7、9月第三月曜日、計画停電の日、12/24は除きます。

献立

- 牛ロースステーキ
- 鮭と長芋の磯辺揚げ
- さつま芋のペペロンサラダ
- かき玉スープ
- 栗の炊き込みご飯
- ケーキ盛り合わせ





令和8年度採用

看護師・助産師 追加募集中

応募資格

- ① 令和8年3月に看護師または助産師の資格取得見込みの方
- ② 既に看護師・助産師の資格を有する方

- ✓ 既卒者・ブランクのある方も大歓迎
- ✓ 有資格者は令和7年度から採用可能
- ✓ キャリアアップ・研修制度も充実
- ✓ 充実したワーク・ライフ・バランス

採用試験日時・会場・内容

日 時：隨時（相談に応じます）

会 場：浜田医療センター

試験内容：論文試験(800文字程度の小論文)
面接試験



@HAMADA_MEDICAL_CENTER

応募方法

詳細は浜田医療センター
ホームページをご確認ください。



独立行政法人
国立病院機構

浜田医療センター

〒697-8511 浜田市浅井町777-12

担当:管理課 給与係長

TEL:0855-25-0505(代)、FAX:0855-28-7070(代)



浜田医療センター 外来診療担当医表

令和7年10月21日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	北條 宣政	—	—	—	松田 花子	初診は月曜日・金曜日のみ
	再診	北條 宣政	松田 花子	北條 宣政	—	松田 花子	
膠原病内科		—	—	—	島根大学医師 *	—	※第2・第4・第5木曜日 本田学
関節リウマチ外来		—	近藤 正宏 *	—	—	—	※ 隔週火曜日 紹介患者のみ
血液内科		—	島根大学医師* ¹ ※ ²	—	島根大学医師* ¹ ※ ²	—	※1 初診は紹介患者のみ ※2 診療時間 9:30~
腎臓内科		岩下 裕 * ¹	担当医 * ²	担当医 * ²	特殊検査・手術	担当医 * ²	※すべて予約のみ ※1 診療時間 9:30~12:00 ※2 紹介患者のみ ※3 診療時間 13:00~
特殊外来		シャント外来 * ³	シャント外来 * ³	シャント外来 * ³	シャント外来 * ³	シャント外来 * ³	
内分泌・代謝内科		山尾/島根大学医師 * ¹	—	山尾 有加 * ²	山尾/島根大学医師 * ¹	—	※1 週ごとに交互実施 ※2 隔週水曜日
呼吸器内科	1 診	河角 敬太 * ¹	柳川 崇 * ¹	特殊検査日 (休診)	柳川 崇 * ¹	柳川 崇 * ¹	※1 初診は紹介患者のみ ※2 診療場所 F11
	2 診	津田 洋旬 * ¹ ※ ²	島根大学医師 * ¹ ※ ³	—	河角 敬太 * ¹ ※ ³	加藤 将 * ¹ ※ ²	※3 診療場所 E9
脳神経内科		—	島根大学医師	島根大学医師 * ¹	島根大学医師 * ²	—	※1 月2回の診療 ※2 第2木曜午後
消化器内科	初診	大屋 聰	生田 幸広	齋藤 宰	古田 晃一郎	木下 泰仁	
	再診	木下 泰仁	大屋 聰	古田 晃一郎	齋藤 宰	生田 幸広	
循環器内科	初診	安田 優 *	特殊検査日 (休診)	古原 聰 *	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 *	※ 紹介患者のみ
	再診	古原 聰	—	明石晋太郎	—	安田 優	
午後外来		ペースメーカー外来	—	失神外来	—	—	
小児科	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	※ 外来担当医: 平出智裕・青木萌子・石本千夏
	再診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
午前予約外来		—	予防接種 * ¹	—	—	—	※1 1才以上 診療時間 10:00~ 1才未満 診療時間 13:30~
午後予約外来		フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	フォローアップ外来 (再診)	1か月健診 * ²	—	※2 診療時間 13:00~ 完全予約制
		—	予防接種 * ¹	—	—	—	※3 毎月第3木曜日 完全予約制
特殊外来		—	—	—	神経外来 * ³	—	※4 毎月第1・第4木曜日 完全予約制
外科	1 診	栗栖 泰郎	栗栖 泰郎	漆原 正一	渡部 裕志	高橋 節	
	2 診	—	永井 聰	原 和志	永井 聰 * ¹	—	※1 予約のみ ※2 診療時間 9:00~11:00
特殊外来		ストーマ外来 * ²	—	—	—	—	※1 予約のみ ※2 第1・第3・第5水曜日
乳腺科		吉川 和明 * ¹	—	鳥取大学医師 * ¹ ※ ²	—	—	
整形外科	1 診	桑田 卓	柿丸 裕之	—	柿丸 裕之 脊椎外来	—	
	2 診	青木 伸明	桑田 卓	—	猪木迫 彩香	—	
	3 診	—	本田 健	—	—	—	
形成外科		担当医 * ¹ ※ ²	—	—	—	—	※1 每月第1・第3月曜日 担当医: 松江日赤医師 (診療時間 10:30~) ※2 每月第2・第4・第5月曜日 担当医: 島根大学医師 (診療時間 9:30~)
脳神経外科		江田 大武 *	手術日(休診)	木村 麗新 *	—	内村 昌裕 *	※ 初診は紹介患者のみ
呼吸器外科		手術日(休診)	大野 貴志	藤田 朋宏 *	手術日(休診)	大野 貴志	※ 再診のみ
心臓血管外科		—	手術日(休診)	大月 優貴	手術日(休診)	大月 優貴	
皮膚科	午前	—	—	島根大学医師	鳥取大学医師 * ¹	—	※1 診療時間 8:30~11:00 初診は紹介患者のみ
	午後	島根大学医師 (褥瘡回診)	—	—	特殊検査 * ²	—	※2 予約のみ
泌尿器科	初診	手術日 (休診)	担当医	担当医	担当医	担当医	
	再診	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	—	
産婦人科	1 診	片桐 浩	下田 秋穂	楳原 貴	楳原 貴	片桐 浩	
	2 診	下田 秋穂	楳原 貴	片桐 浩	下田 秋穂	楳原 貴	※1 診療時間 13:00~15:00
午後予約外来		—	—	—	—	産褥外来 * ¹	
耳鼻咽喉科		鳥取大学医師 * ¹	—	—	—	鳥取大学医師 * ¹	※1 診療時間 8:30~11:00 初診は紹介患者のみ
		—	—	—	鳥取大学医師 * ²	—	※2 受付時間 13:00~15:30 診療時間 13:00~15:30
放射線科		吉田 弘太郎	特殊検査日(休診)	特殊検査日(休診)	特殊検査日(休診)	吉田 弘太郎	
緩和ケア外来		—	担当医 *	—	—	—	※ 診療時間 13:30~15:00
リハビリテーション科		—	—	岸 咲貴子	—	—	診療時間 9:00~12:00 院内紹介のみ
麻酔科		担当医 *	—	—	担当医 *	—	※ 診療時間 9:00~ 術前診療のみ
歯科口腔外科		都田 絵梨奈 *	都田 絵梨奈 *	手術日	都田 絵梨奈 *	都田 絵梨奈 *	※ 初診は紹介患者のみ

診療受付時間／午前8時15分～午前11時00分 (再来受付機は午前8時から稼働)

原則予約制

★ 紹介状をお持ちの方は地域医療連携室を通して予約をお願いします。

★ ご予約がない場合は、来院日に診療が受けられない場合もございますのでご了承ください。

今年も浜田市にヒラマサが回遊してきました。渡船屋ではヒラマサ杯が開催中です。
優勝目指して頑張ります。(M.H.)

表 紙／三隅町室谷 棚田百景
写真提供／河野 義信(浜田医療センター)